

一般会計
當初予算

富士市の昭和53年度予算は、現下の経済情勢から厳しい財政運営が予想される中で、都市の質的転換をめざした「豊かさと充実した市民生活の実現」を市政執行の基本目標にして國の景気回復にも資するため、重要事業の選択と財源の重点的配分につとめ予算編成を行いました。財源的には、市税に占める法人関係の税の伸びが期待できず、予想以上の財源難に当面したが市立中央病院の増改築、公共下水道、中小河川の整備防災対策、義務教育施設の整備などの予算化をはかりました。その結果、新年度における予算規模は一般会計が252億2,800万円、企業会計を含む特別会計が134

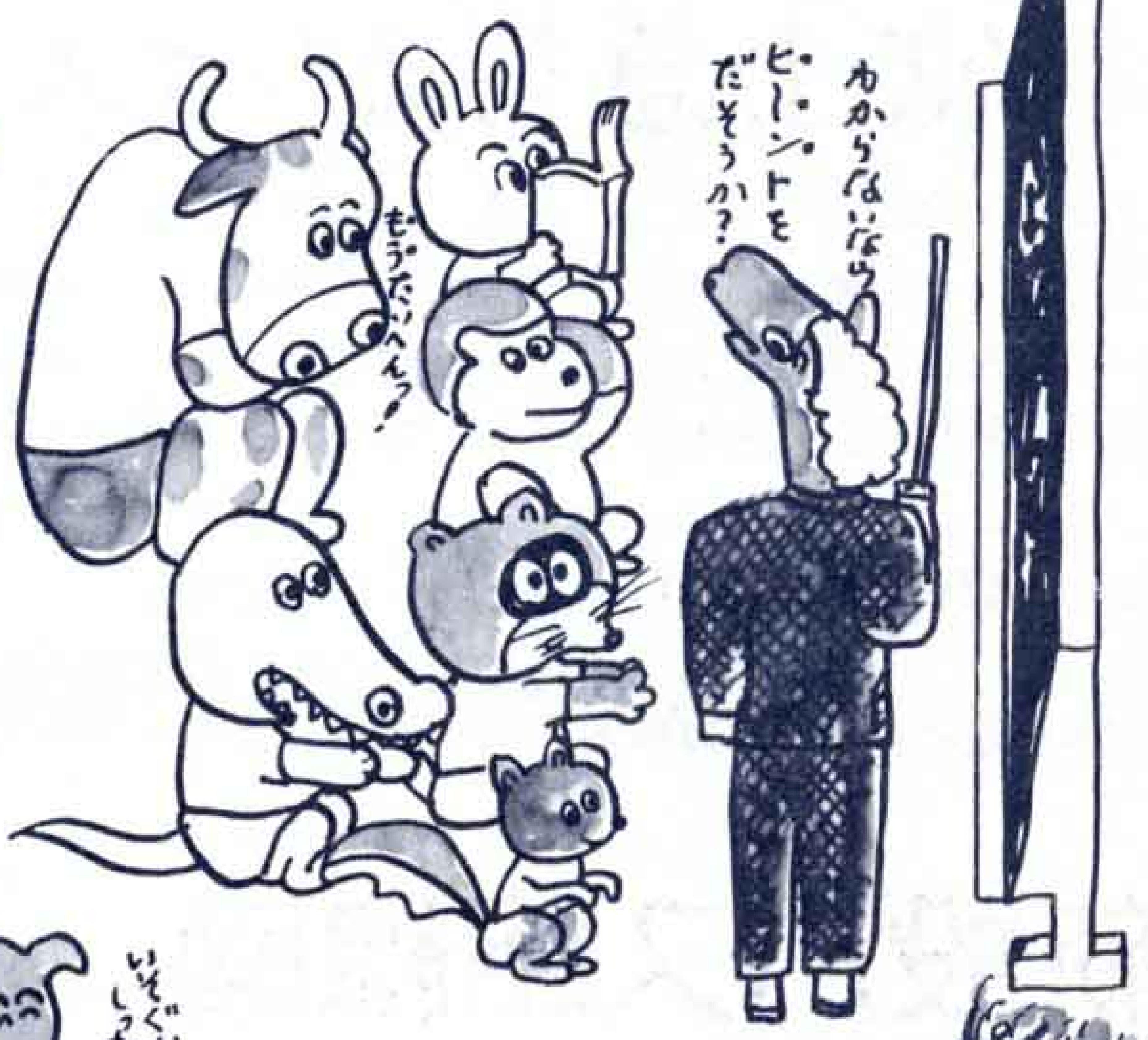
億9,029万円の合計387億1,829万円となります。前年度当初予算に比較して、一般会計にあっては29億3,800万円の増で13.2%、特別会計では27億9,067万円増で26.1%の伸びを示し、総体的には、57億2,867万円、17.4%の増加となりました。

また、これらの予算の執行に必要な財源であります
が、一般財源の市税収入は、法人関係の伸びが期待で
きず52年度対比13.3%増の137億9,431万円を見込みま
したが各種事業の推進にあたっては、國の地方財政計
画と同様、新年度も市債等の特定財源に相当額を依存
せざるを得ない結果となっています。



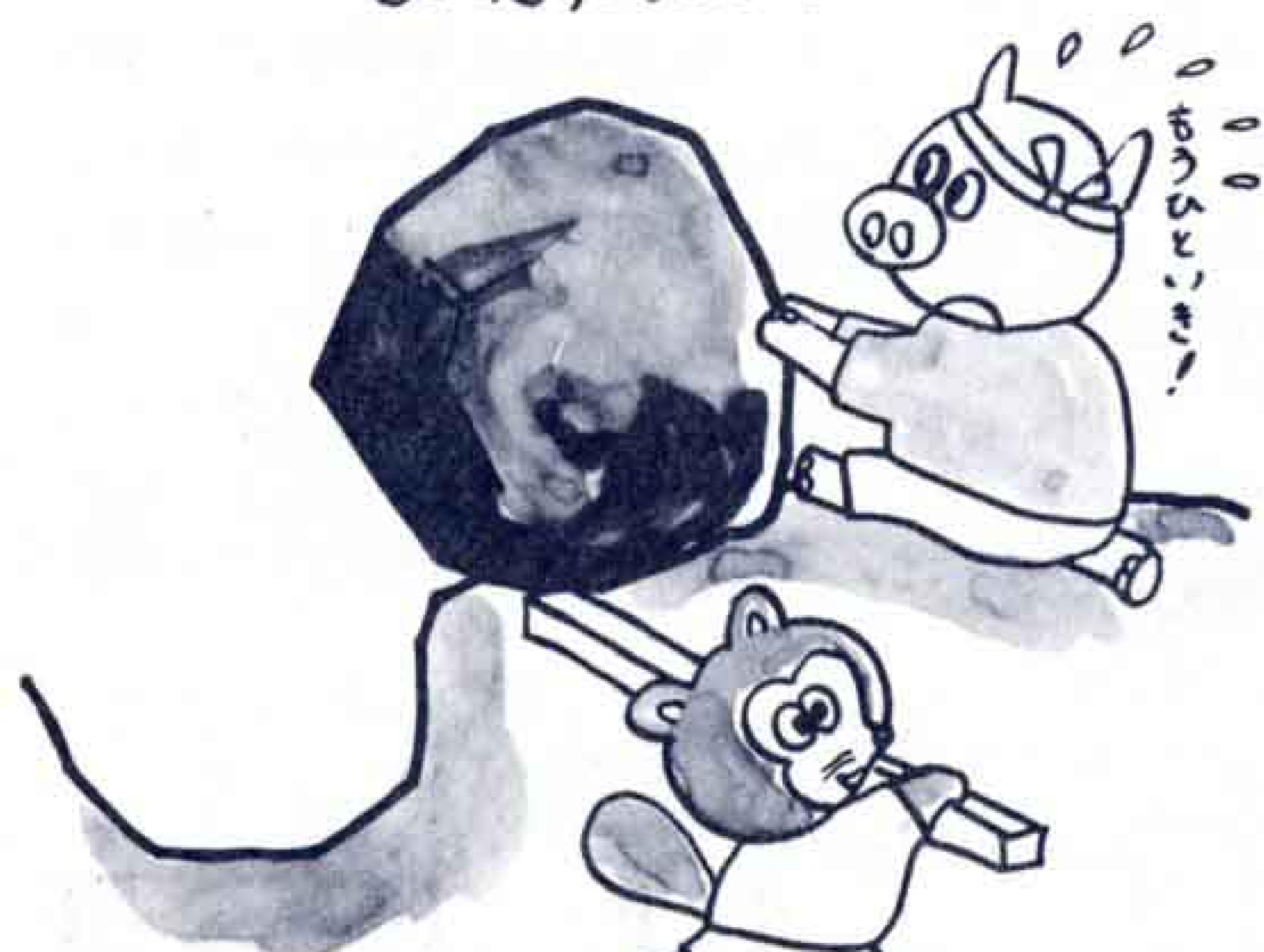


◎教育費
53億3,003万円



◎土木費
60億1,388万円

◎総務費
24億9,903万円



◎衛生費
24億9,953万円



◎公債費
15億9,473万円



◎民生費
38億855万円

◎その他
3億9,540万円



◎農林水産業費
7億1,786万円

◎商工費
12億4,692万円

◎消防費 11億2,2207万円

Red Gengaku

各会計別予算

一般会計…252億2,800万円

特別会計…134億9,029万円
(企業会計を含む)

総額…387億1,829万円

=特別会計の内訳=

国民健康保険事業 33億6,400万円

下水道事業…32億9,971万円

青島・津田地区画

整理事業清算金………280万円

依田原新田地区画

整理事業………6億4,550万円

富士中部地区画整理事業

………6,870万円

学校給食事業………9,264万円

地方卸売市場事業…6億1,450万円

駐車場事業………6,650万円

公共用地先行取得事業

………5億1,820万円

内山………3,540万円

旧吉原………132万円

旧島田………263万円

旧今泉………1,360万円

旧今泉・一色・神戸・今宮

………1,039万円

旧元吉原………172万円

旧須津………204万円

旧吉永………370万円

旧原田………680万円

=企業会計=

水道事業………18億6,920万円

病院事業………26億6,744万円